

プロフィール

東国原 英夫(ひがしこくばる ひでお)

1957年(昭和32年) 宮崎県都城市(みやこのじょうし)生まれ。
宮崎県立都城泉ヶ丘(いずみがおか)高等学校、早稲田大学政治経済学部等を経て
2007年1月 第52代宮崎県知事に就任致しました。

就任後は、独自の感性と行動力で宮崎県勢の発展に尽力し、常に地方の代表として
全国に情報を発信し続け、数々の賞を受賞致しました。改革派の知事として高い評価
を得ました。県民支持率は常に90%を超え、2期目の当選も確実視される中、口蹄疫
被害の責任を取る形で1期目にて退任。

その後、国家構造の改革、地方分権の推進を図るため、東京都知事選に挑戦し
約170万票もの得票を取りますが、次点にて落選。
現在は、講演会、シンポジウム、勉強会等に参加し全国を行脚中であります。

著書に、「知事の世界」、「日本改革宣言」、「逆境を笑え」、「決断の真実」など多数。